

同窓生便り

令和4年9月20日

機械工学科1期生（昭和44年卒業）

大内 博

## 機械工学科1期生 クラス会報告

昭和・平成・令和と3時代を経験した73,74才の老人達のクラス会が令和4年9月5日  
登別温泉第一滝本館で開催された。

当初20名の参加予定であったがコロナ第七波の影響により4名の欠席が出たのが残念であっ  
たが総勢16名が参加した。

**苫小牧**（田中先生・田島先生・菅原君・田野君・内藤君・吉田君）

**札幌**（森君・鈴木君） **東北**（清水君） / **東京**（窪田君・勝岡君）

**中部**（佐藤君・斎藤君・白石君） / **関西**（植木君・大内）



佐藤君 清水君 斎藤君 鈴木君 吉田君 田野君 植木君 \*森君 \*内藤君 大内

白石君 田島先生 田中先生 勝岡君 窪田君 \*菅原君

\*印 幹事さん

平成20年還暦祝い以来のクラス会である。

クラス会冒頭、卒業してから亡くなられた恩師、クラス仲間のご冥福を祈り黙禱をささげた。

菅原幹事長の挨拶ではコロナ感染予防の為、広い部屋を用意したこと、大声での会話を避けるようにと大きな声での注意事項もあり1次会がスタートした。

食事の合間の近況報告では、現役で活躍中の菅原君、ボランティア活動中の窪田君や佐藤君、趣味のゴルフで健康管理中の勝岡君など、それぞれの仲間の話を聞き楽しいひと時であった。

各部屋に帰っての2次会、年代が一気に50歳以上若返り飲むほどに酔う程に昔の話をまるでテープレコーダーを回すかの様に学生時代の楽しい思い出話を繰り返し各部屋からの笑い声が遅くまで聞こえてきた。

幹事の内藤君・菅原君・亡くなった板垣君を引き継いでの森君ありがとうございました。

次回会えるのはいつの日か？77歳喜寿を目標に元気でいようと別れを告げそれぞれの帰路についた。

以上

————— 「蛇足」 —————

「童謡 めだかの学校」 1952年

♪めだかがっこうのめだかたち ♪だれがせいとか せんせいか  
だれがせいとか せんせいか ♪みんなで げんきにあそんでる

古希を過ぎると、

頭の毛は白かったり、なかったり・・・

誰が生徒か 先生か 皆で元気に飲んでいる

「歌謡曲 港のヨーコヨコハマヨコスカ」 1975年 ダウン・タウン・ブギウギ・バンド

♪ <sup>ちよっとまえ</sup>一寸前なら憶えちゃいるが 一年前だとチト判らネエなあ・・・

♪ アンタあの娘のなんなのさ！

♪ 港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカー

古希を過ぎると、

♪ ズーと前なら憶えちゃいるが <sup>ちよっとまえ</sup>一寸前だとチト判らネエなあ・・・

大きくて複雑な構造の第一滝本館内、係の人に教えて頂いたにもかかわらずすぐに忘れて館内徘徊、集団行動での対応が必要だった。

# クラス会 1次



内藤幹事ご苦労様



森幹事の発声により物故者の黙祷



菅原幹事長の挨拶と  
コロナ対応説明



恩師との久しぶりの楽しいひと時

食事の合間の近況報告



## 2次会



♪たれがせいとか せんせいか



以上